

お客様も職員もともに幸せになれる会社を目指して

「ここ最近になるまで精神的なゆとりはありませんでした」。そう語るのは、株式会社きららホールディングスで専務取締役を務める鈴木多賀子さんです。ひたすらに走り続けてきた今日に至るまでの軌跡、そして仕事への想いを伺いました。

株式会社きららホールディングス 専務取締役

鈴木 多賀子



——学生時代はどのような学生でしたか。

中学生までは、人見知りで引込み思案でした。でも、高校受験の失敗を境に、そんな性格が変わっていきました。まず、それまでの勉強法を見直し、自分の勉強法を確立させました。そして、実家の経済状況からアルバイトを複数掛け持ちし、所属していたバドミントン部の部長や、生徒会長も務めていました。

大学でも一人暮らしでしたが親からの仕送りがありませんでしたので4つアルバイトを掛け持ちして生活費を稼いでいました。良い社会勉強になりましたし、今に繋がる接客力、指導力なども習得できました。

——複数のことを同時にこなす秘訣は何でしょうか。

気持ちを引きずらずに、瞬時で、今やるべきことに気持ちを全部シフ

トさせることです。そうすることで、自分が何をどれだけやらなければならぬかが見え、ゴールに向けての計画をしっかりと立て進むことができました。タイムスケジュールや仕事の効率を考える力などの今日に繋がる自己管理能力は、この時期に身につけられたと思っています。こうした時代のおかげで、今は「やればできないことはない」と自信を持つことができています。

——きららホールディングスへのご入社の経緯をお聞かせください。

私が嫁いだ当時、きららホールディングスは有限会社太平プロジェクトという不動産会社でしたが、多額の負債を抱えておりました。そのため宅建主任者の資格を取得し、そこで働きながらも、負債返済のためクリーニング店、ホテル、他の不動産会社などでも並行して働きました。それでも稼いだ給料では補えず、税金の取り立てなど辛かったのをよく覚えています。そこからケアセンターきらら（福



祉施設）を始めようと社長と2人で立ち上がりました。何も分らない状態からの勉強や情報収集、福祉の資格取得と必死でした。その後、きららアーバンパレスをオープンし、保育士の資格も取得しました。事業を拡大する度に必要な資格を勉強し取得し、社長や職員とともに歩んで参りました。

事業拡大にあたり、
一番大変だったことは
どんなことでしょうか。

一番は、ケアセンターきららの立ち上げの時です。オープン前は社員も社長と私の2人しかおらず、事業計画から運転資金の調達、職員の面接、建物の壁紙など何から何まで2人でこなしました。オープンしてからも会社の規模も小さかったので、経理事務から相談員業務、介護、送迎まで全てをスタッフとともにこなしました。立ち上げ準備はもちろんですが、経営が軌道に



乗るまでの間は上の子どもを祖父母に預け、毎日0時近くまで働いたので、特に大変でしたね。二人目の子どもがお腹の中にいる時も動き回っていました。でも、その分、施設には私たちのこだわりが詰まっているので、思い入れが深いです。

元々がマイナスからのスタートという状況で、今日まで走ってこれた原動力とは一体何なのでしょう。

社長の存在が大きいですね。決して諦めずに「絶対負債を無くして会社を大きくしていくんだ」という強い意思を持たれていたの、ただ「ついていこう」と思えました。負債を抱えていることが逆に踏ん張る力に変わったのだと思います。

社長をいかに支え、社長の想いをいかに形にするか、そして社長の想いをどのように職員の皆さんに伝えるかを私は大切にしています。社長は誰よりも愛情が深く、職員一人ひとりのことを大切に考えています。それにも関わらず、口下手な

ところもあり、なかなか職員の皆さん一人ひとりにまで想いを伝えられていないのが現状です。ですので、社長のそんな想いを皆さんにしっかりと伝えていくのが私の務めでもあると思っています。

では、最後に今後の展望をお聞かせください。

日々、会社のために頑張っていてくださっている職員の皆さんに心から感謝しております。ですので、まずは、職員の皆さんの幸せのために出来ることに取り組みたいと思っています。職員の方々が精神的に辛い状況ですと、利用者様に満足していく対応は出来ません。具体的には、女性も男性もより働きやすい環境を整え、さらに職員のモチベーションアップのため、社内のキャリアアップ段位制度を確実なものにしていくことを考えています。入社して良かったと思ってもらえるよう、利用者様とともに職員も幸せになれる会社作りに今後も努力し

て参りたいと思います。

外部できららホールディングスの良い評判を聞く度に、職員への感謝が心から湧くという鈴木専務。辛い時期を乗り越え、社長、そして職員を思う鈴木専務が支えるきららホールディングスの躍進は今後も続いています。





きららホールディングス
総合アドバイザー

さとう ゆうこ
佐藤 優子 さん

利用者様に真摯に向き合い、総合アドバイザーとしても活躍されている佐藤さん。仕事に込めた想いを語っていただきました。

仕事内容

通所介護スタッフの一員として、送迎をはじめとした利用者様のお世話を日々行っています。また、総合アドバイザーとして利用者様やご家族の声に耳を傾け、自分の経験をもとにアドバイスをしています。自ら進んで施設を利用される方は少なく、相談の多くが「家族に自分の想いが伝わらない」という悩みです。また、自分の両親に介護が必要になるということで、どうしたらいいかわからないというご家族から相談を受けることも多いですね。相談を受ける上では、相手の要望を真摯に受け止めるように心掛けています。

職場の人たちとの関わりです。年齢や考え、育ってきた環境が違いますし、言葉の使い方で大きな誤解が生じることもあります。様々な個性がある中で、心を一つにすることはとても難しい。ですが、そんな中で共感を得られたときはすごくホッとしますし、嬉しく感じます。それぞれの個性を理解して、乗り越えていくことが大切なんだと実感しています。

難しいと
感じること

やりがいを感じる瞬間

ボランティアの方が演芸を披露しに来てくれるのですが、そのときに私自身ステージで歌ったり踊ったりすることもあります。利用者様は毎回のステージを本当に楽しみにしてくれていて、私にとってもステージをどれだけ楽しんでもらえるかが生きがいになっています。ご家族から「楽しかった」「嬉しかった」という感謝の手紙を受け取ることもあって、私も精一杯頑張ろうと思います。



利用者様、ご家族のユートピアとして、安心して心を委ねてもらいたいです。笑顔と満足にあふれるような毎日を過ごしてもらうために、利用者様の心にそった対応を心掛けていきます。そのためには自分自身も健康に留意して、いくつになっても反省する心と、喜びを感じる目を持続けて、利用者様と一日一日を大切に歩んでいきたいです。一人ひとりが様々な事情をかかえて利用しています。そんな皆様に満足してもらえるよう、毎日100%の笑顔と、明るい大きな声でやっていきたいです。送迎の車の中では、窓を開けて季節を感じてもらおうなど、心配り配りに努めていきたいです。

今後の目標

これが
私たちの
お仕事
です

事業所内保育 秋田市認可 きらら保育園 きらら学童クラブ



きらら保育園 園長
武田 美香さん

同じ職場で働く仲間たちが普段どのような仕事をしているのか知っていますか？今回はきらら保育園および学童クラブについて、日々の取り組みから今後の展望まで、管理者の武田さんにまるっとお聞きしました！

主な業務とメンバー構成

現在、保育園児36名・学童68名、生後2か月～小学6年生のお子さんが、毎日元気に過ごしています。保育職員・学童支援員・事務を含めた23名の職員が所属しており、子ども達の健やかな成長と保護者様の育児をサポートしております。職員同士の仲も良く、学童クラブ・保育園の垣根が無く、各行事では職員同士が協力し合っています。私の仕事は、その運営全般の管理です。職員や子ども達の『笑顔』のために、奔走しています。

大切にしていることって何ですか？

『愛情』です！

もちろん、安心・安全にお子さまをお預かりすることが、最重要のお約束事ですが、大切なお子さまなので、自分の子どものように深い愛情をもって接することを大前提として保育をさせていただいております。愛情をもって接しているからこそ、衛生管理・環境構成・栄養管理・子ども達の情緒の安定・お友達との関わり・保護者様のサポート、そういった成長に関わるたくさんの事柄が保育園・学童クラブの中では『当たり前』となっていくのだと思います。ですから、『当たり前』のことを自然にできる職員となるよう、私も愛情をもって職員に接し、自己有感を味わえる。

事業所の特徴って何ですか？

保育園・学童クラブともに365日開館しており、7:00～21:00(学童は19:30)までお子さまをお預かりしています。保護者様のご要望の応じ、夕飯の提供もしており、イレギュラーな残業にも柔軟に対応しております。他の保育施設では見られない、介護施設内にある保育事業所ということで、お年寄りの方々との交流もあり、他の事業所の職員さんにも声をかけていただき、たくさんの人達の温かい愛情に守られて運営されています。また、同施設内にそろばん・習字・ピアノ・ヴァイオリンの習い事教室もあり、学童クラブに通っている子ども達が、学童クラブに通いながら習い事もできる職員ことにも保護者様より喜びの声をいただいております。



事業所の強みって何ですか？

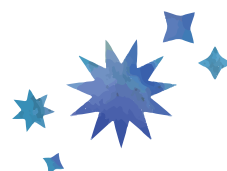
保育園・学童クラブ合わせて当社の保育部門として、職員が一致団結しお互いに協力し合い、様々なイベントにおいて盛り上げています。また、定期的に園内研修を行い、職員全体のスキルアップを図るとともに、『特別支援コーディネーター』を数名置き、配慮が必要なお子さんに対する支援を園全体で行っています。学童クラブにおいても、全員(事務員を除く)教職・保育の免許を持つ者で構成されているため、お子さまひとりひとりに寄り添った見守りを行うことが出来ています。また、保護者様からの個別相談などにも対応することができます。

嬉しいことは何ですか？

子ども達や職員が楽しそうに笑っている、私のモチベーションも上がります。お話ができなかった子が「園長先生」と言ってくれたり、卒業した子が中学校の制服を着て顔を出してくれたりすると、感激して泣きそうになります。職員からの温かい言葉や笑顔・子ども達や保護者様の笑顔、そんな日々の小さな幸せが私にとっては最高の幸せです。

今後の目標を教えてください！

『One for all, All for one』～一人は皆のために、皆は一つの目標のために～それが私の信念でもあり、目指す目標です。保育園・学童クラブの利用者様・職員が毎日楽しく笑って過ごせること。みんなが笑顔でいられるために、私にできることは何かを常に考え、実現に向けて行動にしていきます。



一緒に働く仲間たちです

今回も引き続き、①入社のきっかけ、②子どもたちとの思い出のエピソード、③今後の目標を伺いました！



子どもたちの笑顔がエネルギー源に

おやま ともえ
小山 智江さん 保育主任

①当時、様々なコンプレックスや、不安を抱えて就職活動をしていました。内定が出た後、鈴木社長とお会いすると、細やかなところまで親身になって聞いてくださいました。社員ひとりひとりのことを大切にしてくれる会社だと感じ、安心して入社することができました。

②子どもたちとの日々の生活すべてが良い思い出です。主任になり、子どもたちとの時間が減ってきていた時、今までの関係が薄れていくのでは……と不安に思っていました。しかし、毎朝、「智江先生！」と呼んでくれたり、ギューっとしに来てくれたりする子どもたちの笑顔で不安が吹き飛ばされています。

③「凡事徹底」当たり前のことを当たり前に行えるようにと日々思っています。徹底してやるということは、難しいことだと思います。しかし、小さなことでも継続し、続けていきたいと思っています。その考えや姿勢が、少しでも子どもたちや保護者、先生たちのお役に立つことができたら嬉しいです。



お母さんに寄り添いたい

まえざき みゆき
前崎 美由起さん 保育副主任

①保育の仕事をもっと続けていきたいと思い、求職中に知り合った方に相談し、まだ工事中だった施設内を見せていただきました。施設で働きながら子育てをするお母さん方のサポート、そしてお母さんが仕事をしている姿を実際に見ることもできるという保育園で子ども達が安心して過ごせることは素晴らしいと感じ、ここで働きたいと思いました。

②哺乳瓶からミルクが飲めずにいた赤ちゃんが哺乳瓶でミルクを飲めた瞬間、「がんばったね、すごいね！」という気持ちでした。嬉しかったです。

③子育てに悩んでいるお母さん、相談する方もいなく困っているお母さんに今までの経験を活かして気軽に相談にのってあげることができるよう、サポートしていきたいと思います。



たくさんの感謝の言葉を胸に

さるた
猿田 ひとみさん 学童クラブ支援員

①保育の仕事からしばらく離れていましたが、前の保育園でお世話になった先生から紹介されました。社員の皆様の明るい挨拶や対応がとても素晴らしいと思いました。久々の保育の仕事で不安はありましたが、背中を押され、初心に戻り子どもたちと過ごしたいと入社を決めました。

②卒園されたお子様の保護者様から「保育園での子どもの良いところをいっぱい教えていただき、普段知らなかった一面に気づき嬉しかったです。お母さん大丈夫ですよと言われるひと言に安心感がありました」「子どもの悩みにいつもしっかりと向き合ってくれてありがとうございました」など、たくさんの感謝の言葉をいただき、とても嬉しく、これからも頑張ろうと思いました。

③子どもたちが毎日楽しく過ごせるように、遊びや生活の場の環境を整え、いつも笑顔と元気を忘れず、子どもたちとたくさん遊び、頑張りたいと思います。



きららは優しい場所

かねもち あき
金持 明季さん 保育士

①社員の方の笑顔がとても良かったです。また、当時、子どもが幼く、日勤の時間のみでも受け入れていただける保育所を探していました。自分の生活に合わせてシフトを組めたのも、とても助かりました。

②退園・転園した子どもたちと街中で会うと「あき先生」と忘れずに名前を呼んでもらえたことです。そして、その子の成長した姿を見ることができ、とても嬉しかったです。

③いつも、一緒に働いている仲間の笑顔、協力、手助けがあるからこそ、私は頑張れています。私も仲間（チーム）を大切に、楽しく仕事ができるよう笑顔たやさず、何事も前向きに考え行動していきたいです。



保育は毎日が勉強

ほりてる よ
堀 照代さん 保育士

①もともと子どもが大好きで、できて間もない保育園で働く人を探しているとの情報が入ってきました。自分の子どもがスポ少や部活をしていて、試合のときはお休みがいただけると聞き、すぐに働きたい！と思い応募しました。

②子どもたちの笑顔を見ることが一番嬉しいです。その笑顔で「てるよ先生！」なんて呼ばれると最高です。

③これからも、保育について勉強をし、もっともっと子どもたちが笑顔になれるような保育をしていきたいです。



子供たちの笑顔のために

ふくはら ひろみ
福原 裕美さん 保育士

①求人票には、『土・日曜日の休みは応相談』とあったので応募してみました。土・日曜日には子どもたちの部活動があり、試合の観戦・応援が大好きな私にとって、とても魅力的な言葉に惹かれました。

②言葉が出始めた子どもたちから「センセー！！」と必死に呼ばれる時がうれしいです。何かを伝えたい！！という思いがあり、とてもかわいらしいです。

③子どもたちの笑顔のため、元気に楽しく過ごせるよう保護者の方たちと協力していきたいです。



頼ってもらえる人財に

きょうごく ちくさ
京極 千草さん 事務

①始めは派遣社員として面談に来ました。その時、鈴木社長から「正社員としてどうですか？」とお話をいただき入社をしました。面談の時の鈴木社長が、とても温かい印象で、この会社で頑張りたいと思いました。

②名前を覚えていただき、声をかけてもらった時がいつもとても嬉しいです。

③これからも笑顔と元気を絶やさず、明るく元気に周囲の方々のサポートが出来るよう頑張ります。

きらら 掲示板

10月20日(日) 第2回きらら大運動会!

黄色・青・緑・ピンクチームに分かれて、職場(事業所)の枠を超えガチの交流会!今年も楽しく笑顔あふれる中で行われました!

今年の選手宣誓
は、きらら学童クラブ
の金先生!「宣誓!私たちが
は愛和の精神で!」



スペシャルゲストに
秋田ノーザンハビネッツのラート世界チャンピオンの
高橋選手!!ラートの体験会を行いました。



鈴木社長もラートで回る...まわる...社長!
いかがでしたでしょうか!



審査員は
茂木統括本部長と
高澤統括施設長。
もちろんご自身の
参加、参戦あり



キャタピラー競争!
途中で2体爆発しました...



子供たちの競技はピンポンお玉リレー!
うまく運べるかな?



4mの玉入れ!
きらら運動会の新名物競技
になりそうですね♪



社員のピンポンリレー!
多賀子専務ファイト!



綱引き!頑張るよ!!



結果は...
黄色チームの優勝!



ファイト!!がんばれ!!応援にも熱が...



大盛り上がり!の
リレー競技



玉入れの
合間のひと時に



全体研修会

～瞑想会～

11/12(火)・13(水)にヒーラーの小竹恵先生(大分県)
による瞑想研修会が行われました。

正しい瞑想法を身につけて、ミラクルを引き寄せよう!

瞑想方法

- ①深呼吸(17回)
- ②正しい姿勢
(長時間の瞑想でも苦痛や痛みを感じない姿勢)
- ③自分の願い・希望
- ④瞑想+音+香り
=松果体を活性化させる=ミラクル!

生きづらさ・生きにくさを魂レベルで開放し、自らの願いが
叶う瞑想。まずは3か月継続し、変化を体感してみましょう。



お知らせ:今後も小竹先生による瞑想会や個人
セッション、お茶会等の開催を予定しています。
詳細やお問い合わせは鈴木多賀子専務または
研修部までお申し込みください。